

健康経営で2つの認定取得

「ブライト500」に認定

市の健康づくり実践事業所も

石材加工、輸入卸売業の鳴本石材(株)(笠岡市茂平2918-23、鳴本太郎社長、電0865・66・1414)は、社内の健康経営の取り組みにおいて日本健康会議による「健康経営優良法人2022 ブライト500」と、笠岡市の「健康づくり実践事業所2022」の、2つの認定を取得した。健康経営優良法人は、優



笠岡市の認定式。左が鳴本社長

良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度。特に「中小規模法人部門」の中でも上位500法人には「ブライト500」の認定を設けている。同社は、健康経営優良法人に2年連続で認定され、今回はブライト500に初認定された。本年度笠岡市内でブライト500の認定は唯一。

健康づくり実践事業所は、従業員の健康づくりに積極的に取り組む事業所を認定する制度。同社は初認定となった。

同社の健康経営は、経営理念である「社員の倅せと企業の繁栄」を実現するために、社員の健康増進による生産性向上や、生き生きと働きやすい職場環境作りを図ることを目的としてい

る。取り組みでは、「鳴本石材 健康経営宣言!!」を掲げ、健康機会増進に向けたスポーツイベントの参加費の補助や、感染症予防対策として予防接種代金の補助、健康課題の把握のため40歳以上へ人間ドック受診代の補助の制定などを行っている。

同社は「今後も、今回の認定をきっかけに改めて健康を意識する事を心がけ、社員の健康増進、生き生きと働きやすい職場環境の実現を目指していく」と話している。

「経済レポート 2022年6月1日号掲載」